

太子町教育委員会／令和4年11月定例会議事録

日時及び場所

- 日時 令和4年11月21日（月）
開会時間：午前9時30分
閉会時間：午前10時55分
- 場所 役場庁舎3階 第2・第3会議室

会議に出席した者の職氏名

- 出席者
教育長 勝良教育長
委員 仲堅教育長職務代理者、上藪委員、明石委員、筒井委員
事務局 池田教育次長、正野教育総務課長兼給食センター所長、東條生涯学習課長、
吉村教育総務課長補佐、川村教育総務課主査
- 欠席者
矢野教育総務課学務指導担当課長
- 傍聴者
なし

議題

- 日程第1 会議録署名委員の指名
- 日程第2 教育長の報告
- 日程第3 議案第7号 令和3年度太子町教育委員会点検・評価報告書について
- 日程第4 諸般の報告（その他）

勝良教育長

おはようございます。

それでは、これより教育委員会 11 月定例会を開催いたします。

まず、【日程第 1 会議録署名委員の指名】をいたします。本日の署名委員は、【仲堅委員】をお願いいたします。

続きまして、【日程第 2 教育長の報告】について報告申し上げます。

勝良教育長

定例会の前に、町長から上籙委員に委任状をお渡ししていただきました。上籙委員におかれましては、3 期目となります。義務教育を受けているお子さんがおられる保護者の代表として入っていただいておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

太子町では、内規として行政委員の任期は 3 期以内、若しくは 75 歳までとしておりますので、ご理解いただければと思います。

山々もすっかり紅葉し、まさに秋たけなわでございますけれども、学校また教育委員会においては、修学旅行や色々な行事が目白押しでございます。コロナ前の通常通りの開催とはなりません、感染対策を十分するなど工夫や改善をしながら実施していただいております。

本日は、教育委員会の点検と評価についての審議をいただくことになっております。長くなると思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。

本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

勝良教育長

ただ今の件につきまして、ご質問等ございませんか。

勝良教育長

それでは、次に【日程第 3 議案第 7 号 令和 3 年度太子町教育委員会点検・評価報告書について】の説明を求めます。

池田教育次長

それでは私の方から、議案第 7 号 令和 3 年度太子町教育委員会点検・評価報告書についてご説明を申し上げます。

6 月定例会で提示させていただきました令和 3 年度点検・評価報告書の点検評価シートをもとに、10 月 4 日に四天王寺大学の堂上准教授に学校教育の部門を、また同日に、大阪大谷大学の中道教授に生涯学習の部門のヒアリングを受けまして、助言及び評価等をいただき、令和 3 年度の点検・評価報告書としてまとめたものを資料として事前配付させていただいております。報告書の概要について説明させていただきたいと思います

報告書をご覧ください。

まず、報告書の構成ですが、目次をご覧ください。昨年度と同様に、1 から 4 の章の後に、5 章として新型コロナウイルス感染症対応についての章を追加してございます。コロナ禍の中で、国の交付金を活用す

るなどして実施した対策事業についてまとめて記載してございます。

1 頁目をご覧ください。点検と評価制度についてということで、点検評・価制度に関わる経緯と太子町の評価委員の先生方について記載してございます。昨年に引き続き、学校教育分野につきましては四天王寺大学教育学部教育学科の堂上准教授、生涯学習分野につきましては大阪大谷大学人間社会学部スポーツ健康学科の中道教授に評価委員をお願いしております。

次の2 頁からは、教育委員会の活動状況ということで、1. 教育委員会の組織の役割、2. 教育委員会会議等の開催、教育委員の活動状況、3. 教育委員会事務局について記載してございます。

9 頁から 11 頁には、教育費の決算ということで、令和3 年度の教育費関係の決算状況について掲載してございます。決算の詳細につきましては、先月の定例会の決算議会報告で申し上げた通りとなっております。

12 頁から 17 頁には、各町立学校園の概況、園児児童生徒数の推移について記載してございます。

18 頁から 20 頁には、安全・安心な学校園づくりということで、学校教育施設の整備や、学校における防犯、防災についての取り組み状況等を掲載してございます。学校施設につきましては、2 期目となります磯長小学校のトイレ改修事業や、適応指導教室の移転工事等に取り組んできたところとなっております。

21 頁から 27 頁には、学校教育の充実と教職員の資質向上ということで、教職員数や教職員研修等について記載してございます。

28 頁には、町立小中学校、幼稚園に対する指導事項を、29 頁、30 頁には、いじめ・不登校対策、虐待対応ということで、和みルーム、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活動状況等を記載しております。

31 頁から 50 頁には、学校園における特色づくりと学力向上への取り組みとしまして、冒頭に、令和3 年度の全国学力・学習状況調査結果の概要を、続きまして、外国語活動検討委員会や学力向上推進会議等の開催状況、大学連携等について記載しております。

47 頁は生徒指導について、48 頁には支援教育・人権教育について、49 頁、50 頁では進路指導について記載しておりまして、町立学校園の卒業後の進路状況や教育相談の実施状況についてのデータを掲載してございます。

51 頁から 53 頁は健康と体力づくりとして、各種検診や体力づくりの取り組み、続く 54 頁には就学援助の状況を記載しております。就学援助の要保護、準要保護とも例年と比べて大きな変動はございません。

55 頁、56 頁は学校給食の現状ということで、給食の実施状況や給食運営委員会等の会議開催の状況等を掲載しております。

57 頁以降は生涯学習に関する記載となっております。まず、57 頁には社会教育委員の活動状況を、続く 58 頁では成人式と生涯学習広域講座、59 頁、60 頁は人権教育に関して、61 頁から 63 頁には青少年・女性教育ということで、青少年指導員会、リーダー会、地域婦人会等の活動状況について掲載しております。

64 頁からはスポーツ振興に関する記載になってございまして、64 頁から 66 頁には各種スポーツ施設の状況、67 頁にはスポーツ振興事業の実施状況を記載してございますが、スポーツ大会や各種スポーツ教室の開催状況については、コロナによる中止も多くあったという状況でございます。

68 頁、69 頁には、スポーツクラブの現状や学校体育施設の開放利用関係、70 頁から 72 頁には、スポーツ推進委員会と体育連盟の 2 団体の活動状況について記載しております。

73 頁からは文化活動としまして、公民館の利用状況から始まり、74 頁には、公民館教室の開催状況とコロナの関係で中止としました文化祭について記載してございます。

76 頁には公民館クラブの現況、77 頁では太子町文化連盟の活動状況を記載しております。

78 頁、79 頁では、本年 7 月にオープンしました生涯学習施設の整備事業について記載しております。整備の方針やコンセプト、オープンに至る経過を記載しております。

80 頁からは図書室事業の記載になってございまして、施設利用の状況、貸出冊数、蔵書数の推移、また、各種事業の実施状況としまして図書室で開催しているお仕事体験やブックフェア等について記載しておりますが、おはなしひろば以外はコロナの影響で中止となっております。

83 頁からは文化財の保存と活用としまして、町内の指定文化財について、84 頁では埋蔵文化財行政の実績、85 頁から 88 頁では平成 27 年度から取り組んでおります国指定史跡二子塚古墳保存整備事業の事業経過について掲載しております。

89 頁からは太子町立竹内街道歴史資料館についての記載になってございまして、90 頁には入館者数、91 頁には各種資料館事業の実施状況、92 頁には友の会の活動状況について記載しております。

93 頁、94 頁には、国の登録文化財となっております大道旧山本家住宅についての記載となっており、94 頁には入館者数の推移を掲載しております。

95 頁が昨年度から追加した章でございまして、新型コロナウイルス感染症対応についての記載となっております。新型コロナウイルス感染症に関する国の交付金や補助金を活用して実施した 2 事業について記載しておるところとなっております。

96 頁から点検評価シートを掲載してございます。詳細についてはお読み取りいただきたいと思いますが、評価委員会からの意見と助言についての主立ったところをご紹介させていただきたいと思っております。

まず、1. 子どもたちの心を育む特色ある幼稚園づくりですが、日常の教育活動の取り組みと広報活動についての評価をいただいているところですが、少子化の影響による園児減少の問題について、昨年に引き続き問題提起をいただいているところでございます。

2. 学校における特色づくり及び学力向上への取り組みでは、長い歴史のある小中学校が地域に支えられ、伝統的な取り組みを継続していることについての評価をされていますが、コロナ禍における中止や見直しが進む中、取り組みの継続、発展、新設の推進を求められるところとなっております。学力向上につきましては、小中学校における課題の共有化を通じた小中連携の取り組みについて評価をいただいております。引き続き、家庭学習スタンダードと授業スタンダードの活用を通じた取り組みの強化が求められております。また、英語教育につきましては、早い段階からの取り組みを評価していただいております。小学校の外国語活動に対し、外国語活動推進委員会や小中連携による取り組み強化が求められている他、少人数加配の活用や教職員研修、中学校における35人学級の取り組みについて意見をいただいているところとなっております。

3. 健康教育の充実と体力づくりの推進では、給食については従来から保護者や子ども達の評価も高く、食育の取り組みとあわせて一定の評価をいただいております。

4. 子どもの安全確保及び危機管理体制の充実です。大規模災害が全国で頻発する中、この間取り組んできた防災教育実践委員会を通じた危機管理意識向上の取り組みが一定成果を上げている点について評価をいただいております。今般の新型コロナウイルス感染症予防対策の経験を蓄積し、子ども達の教育権の確保ができているということについても評価をいただいております。

5. 教職員の資質向上でございます。この項目につきましては教育委員会の最重要課題としてとらえておまして、管理職や主席、教務主任等の育成についてご助言をいただいております。経験年数の浅い教職員に対する研修、リーダーとしての人材育成、適切な人事異動等を進めること、さらに、チームとしての学校という視点で管理職のリーダーシップのもと組織力の強化を求められているところとなっております。

1枚めくっていただきまして、6. 教育施設の整備でございます。学校施設の整備につきましては、取り組みについて高い評価をいただいております。昨今の財政難の中、磯長小学校のトイレ改修工事や幼稚園の空調更新工事、適応指導教室の移転工事など

教育への財政支援は太子町の未来への投資という観点で、引き続き取り組みを進めていただきたいと助言をいただいております。

次の頁です。7. 学校給食の充実では、この間の給食における新型コロナ対応、且つ、保護者の負担軽減として実施した給食費の無償化については高い評価をいただいております。引き続き食の重要性を理解し、安全な給食の提供を求められているところとなっております。

8. 子どもたちの豊かな心の育みでは、長い伝統、地域との深い結びつきによって支えられてきた伝統の継続が求められてございます。ただ道徳教育やキャリア教育、支援教育に関しましては引き続き取り組みを求められておるところとなっております。

9. 生徒指導の充実では、虐待問題、いじめ、不登校、暴力行為が課題となる中、学校支援チームの派遣による専門的見地からのアセスメントに対する評価が高く、虐待等に関する子ども家庭センターなどの関係諸機関との連携した対応についても評価をいただいているところとなっております。また、不登校につきましては、小中連携した横断的指導体制や適応指導教室の設置を通じた総合的対応について評価をいただいております。一方、近年顕在化してございます保護者対応の難しさに関しましては、経験の少ない教職員の対応能力の向上に対する取り組みはますます求められるところとなっております。

10. 小中一貫教育の推進では、児童生徒数の減少が進む中、幼小中が連携した一貫教育の推進を立ち上げたことに対しまして、大きな期待をいただいているところでございます。小中の学校文化の垣根を越えた、教職員の相互理解の推進が求められるところとなっております。

続きまして、生涯学習分野についてです。

11. 青少年活動の充実では、コロナ禍における事業の開催方法の模索と取り組みの推進が求められておまして、特に取り組みが薄くなっている青年期対象の企画が求められてございます。また、学校協議会の役割、特に学校施設という資源の活用について、協議会の果たす方向性についての提言をいただいております。

12. 生涯学習の推進では、コロナが続く中、対面交流の代替手段としてスマホやパソコンといったメディア活用による学びの提供についても提案をいただいております。

13. 図書室事業です。生涯学習センターと合わせて開館した図書館に関しまして、両施設を連携して機能させることによってまちづくりのための拠点となる取り組みを期待されております。

14. 生涯スポーツの推進でございます。コロナによる事業の中止については一定の理解をいただきながらも、この機会にしかできないような取り組みの強化についての要望をさせていただきます。在宅時間の

増加による運動不足への対応に関しまして、メディア活用がこの項目でも指摘されることとなってございます。

15. 歴史文化遺産の保存と活用です。昨年に引き続き、子どもたちに太子町の持つ歴史的魅力をどう伝えるかについての提言をいただいているところでございます。子どもたちが、我がまちについて誇りを持って語れる知識の提供について、検討して参りたいと考えてございます。

以上、点検・評価報告書の概要と、点検・評価項目に対応した評価委員の意見と助言の内容について、簡単ですがご説明を申し上げました。

今後の予定といたしましては、本日の定例会でご承認いただければ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づきまして、12月の議会中の全員協議会で報告し、住民の皆様には12月中に町のホームページ、情報公開コーナーで公表して参りたいと考えております。

議案の説明は以上でございます。何卒よろしくご審議の上、ご議決賜りますようよろしくお願いいたします。

勝良 教育長

何かご質問、ご意見はございませんか。

明石 委員

細かいことになりますが、誤字脱字がありました。36頁の下のグラフの凡例ですが、「最後まで」の「で」と「解答をとこうとした」の「と」が抜けております。37頁のグラフについても同様の脱字がありました。それから、95頁のコロナ対策事業ですが、2事業について記載されておりますが、「4事業を実施した」となっております。

池田 教育次長

正しくは2事業です。修正させていただきます。

明石 委員

それから、97頁の幼稚園についての点検・評価シートで、評価委員の堂上先生の意見と助言の中に、幼稚園の存続も含めて検討すべきと書かれていますが、これについては来年度の新入園児の申込み者数の報告があった際にご質問させていただき、教育長としては子どもの数が減っても幼稚園は存続していくというお考えだったと思います。今後、子どもの数の減少に関連した問題が色々なところで出てくるかと思いますが、半世紀ほど太子町の教育を担ってこられた教育長に振り返っての思いであるとか、これからの子どもの減少期に向けてのお考えをお聞かせ願いたいと思います。

教育大綱の基本理念で太子町の人口減、少子高齢化、児童数の激しい減少について取り上げておられます。太子町は大阪全体の人口変化に比べると約20年位ずれており、ここ10年で児童数の急激な減少期に入っているといった状況が触れられております。

太子町の園児・児童・生徒数は16頁にまとめられていますね。教育

長が十数年前に太子町立中学校の校長をされておられ時は、学級数は5でしたか、6でしたか。

勝良 教育長 私が校長を務めた10年間は、各学年5クラスありました。

明石 委員 まだ生徒数が多かった時期ですね。それが現在では中学校1年生は3クラスですね。2年生、3年生は4クラスとなっていますが、加配による4クラスで、実質は3クラスですね。小学校の子ども数から見ても、今後も中学校は3クラスですね。中学校としても規模が小さくなり、組織的な部分でも今後大きな影響を受けてくるだろうということが考えられますね。

問題は幼稚園ですね。現在3歳児クラスの在園児数は何人ですか。

教育総務課等
正野 課長 8人です。

明石 委員 来年度の予定数は何人ですか。

教育総務課等
正野 課長 8人です。

明石 委員 今後、小学校へ入学する子どもの数は大体何人くらいになっていますか。

池田教育次長 正確な数については記憶しておりませんが、来年度は90人位ですが徐々に減少していき、50から60人位まで減少していきます。

明石 委員 今後50まで減るということが現実になると、中学校も2クラスになっていくということですね。磯長小学校も1クラスになることも考えられる時がすぐくると考えていいわけですね。それだけの急激な変化が目の前に迫ってきているということを考えて、今後色々なところにこの影響が出てくるのではないかと思います。これにつきまして、教育長のお考えをお聞かせいただけたらと思います。

勝良 教育長 昔は千早赤阪村に小学校が4校、河南町には5校ありました。現在はどちらの町村も小学校は2校になっております。これは避けて通れない状況であると思います。私が昭和62年に教育委員会事務局に配属された時には、町立幼稚園の4歳児クラス、5歳児クラスは1桁園児数で、町立幼稚園閉園の話も出ておりました。しかし、ちょうど大規模な住宅開発で聖和台ができ、私立の保育園2園も定員をオーバーして待

機児童が出るような状況になりました。そこで、多くの子どもを受け入れることができるように、現在の町立幼稚園園舎が建ちました。当初は抽選になるぐらいの子どもの数でした。その後、少子高齢化で徐々に子どもの数が減ってきました。町立中学校を定年退職し町立幼稚園の園長を2年間させていただきましたが、その時は各学年2クラスあり、各学年35名程、園全体で100人程の園児がおりました。近年は1学年10人前後といった園児数になっておりますが、セーフティーネット的な役割をも担う公立幼稚園の存続は重要だということで、各町村とも小規模ながら1園は続けておられるという現状がございます。歴代の町長である吉村町長、浅野町長、現田中町長もそうですが、いずれの町長も町立幼稚園のあり方についてはいつも気にしていただいております。

小学校についても1校でよいのではないかというような話も出てくるのかなと思います。将来少子化により1学年50名足らずというような状況においては、小中一貫校というのも一つの選択肢になってくるのではないかと考えています。現状としては、現在の学校の充実を図っていくということで、幼稚園についても園児を確保しながら存続できればと頑張らせていただいております。ただ、遠いか近いかわかりませんが、将来的には私学との共存や連携的な取り組み、若しくは全て委託するといった形態を考えていかないと、集団としての意味がございませんし、保護者からのニーズにも答えられないというようなことになるのではないかと考えております。教育委員会として大きな課題であると思いますので、継続してご議論いただきたいと思っております。

心情としては町立幼稚園を残したいと思っておりますが、全園児数が10人を切るといったような状況になってきた時には、集団としての取り組みもできませんし、子どもにとってもあまりよくない環境であると思っておりますので、考えていかなければいけないと思っております。1学年の子ども数が50人になれば、4園で50名を取り合うことになりますので私立も成り立たなくなってくるかと思っております。

仲堅教育長職務代理者

町立幼稚園ですけれども、保護者であるお母さん方もどんどん社会情勢の変化で仕事に行っておられて、幼稚園と意思疎通をはかるのも大変な状況だと聞いております。今まででしたら、自宅におられる保護者の方が多かったですけれども、大半がお勤めされている状況で保育時間が短いといのは保護者には負担になるといった社会情勢も園児数に現れていると思っております。

勝良教育長

保護者からすると、幼稚園と保育園は同じことをしている様にしか見えないので、違いがあることは分からないと思っておりますが、幼稚園は文科省が管轄しており、保育園は厚生労働省が管轄しております。中身の違いとしましては、幼稚園は3歳児から5歳児を対象に教育指導要領

に基づいた教育を行うのに対し、保育園は保育に欠ける子どもを預かることを目的としております。日本の幼児教育は3歳児、4歳児、5歳児の時点で基本的につけておきたい力が育まれることによって、生涯に亘って子どもの成長に大きく影響を与えているといったところで外国から高い評価を受けております。文科省はそれを守らなければということに頑張っておられるのだと思いますが、保育園も体育や英語などを取り入れるなどをされていますので、幼稚園と変わらない感じになってきております。社会の変化によって長時間労働される女性が増え、段々とそれが当たり前になっていくだろうと思いますので、幼稚園は保護者のニーズに合わせていくことが難しくなっていくと思います。幼稚園は教育時間が週24時間と決まっています。9時から14時までの4日間、水曜日は半日というのが文科省の指導要領に沿った時間数です。町立幼稚園では教育時間の後に預かり保育として17時までの時間延長を行っています。これは公立園としては画期的なことだと思います。預かり保育を実施することで、何とか園児を確保することができておりますが、更に時間を延長して保育園並みにすることも考えないといけないのかもしれませんが、難しいように思います。

明石委員

仲堅委員が言われた保護者のニーズにというのは大きいと思います。町立幼稚園の園児数の減少は、社会の変化に加えて保護者のニーズも変わってきたことが関係していると思います。それと、太子町の児童数が非常に多かったのが20年前ぐらいですので、その世代は子どもを持つ親になる年齢になってきていると思います。しかし、出生数は増えていないので、太子町の若い世代の流出が非常に多く、流入が少ないことにあると思います。コロナの影響等で一時的に落ち込んでいるだけなのであれば、多少の回復は見込めるでしょうが、若い世代数が実際に少ないということであれば、町の問題として今後の対応を考えていかなければならないと思います。

勝良教育長

私は昭和48年に太子町に赴任してきましたが、その時に200戸ほどの太子ヶ丘の開発がありました。それから、10年間隔くらいで500戸ほどの磯長台の開発、900戸の聖和台の開発、いわき台の開発がありましたので、大きく児童数が減少することなく、徐々に増えておりました。それが、高齢者が増え、明石委員の言われるように若い世代が町外へ出ていってしまっているというのが現状です。ただ、磯長台に関しては若い世代が戻ってきている気がいたします。これから先は分かりませんが、大きな開発がない限り徐々に減っていくという傾向は変わらないのではないかと思います。

仲堅教育長職務代理者

磯長台の開発で多くの子育て世代の流入があり、当時の林教育長が磯長小学校の教室が足りなくなるので大変だとおっしゃられていたことを思い出しました。

勝良教育長

そうですね。教室が足りなかったのでプレハブを建てて対応したくらいでしたね。今から思えば、あの時に校舎を建替えておけばよかったのかもしれないね。

明石委員

その時に入ってきた若い世代も20年経てば子育てが終わりますからね。高齢化も進みますね。入替えがあれば別ですけども、そのまま進むと急減期を迎えますね。

勝良教育長

大規模な開発があると子育て世帯の流入が進み子どもの数すごく増えますね。100戸単位以上の開発がいくつか続けば、また子どもの数が一気に増えるような気がします。太子町は駅も近いですし、交通の便も割といいので、ひょっとしたらそんなこともあるかもしれません。それは町の施策になると思いますので、町長がどういう方向で考えておられるのかによります。

勝良教育長

他に何かございませんか。

勝良教育長

無いようでございますので、本件について原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

[全員「異議なし」の声]

勝良教育長

ご異議ないようですので、【日程第3 議案第7号 令和3年度太子町教育委員会点検・評価報告書について】は、事務局原案のとおり承認するものといたします。

勝良教育長

続きまして、【日程第4 諸般の報告(その他)】について説明を求めます。

教育総務課長
正野課長

教育総務課から1点報告させていただきます。

新型コロナに関連しまして、山田小学校の4年生が11月5日から7日まで学級閉鎖しておりましたが、週明けも感染が収まらない状況であったため、引き続き8日から10日まで学期閉鎖を延長しました。その後は、町立学校園で数名の感染者があるものの学級閉鎖等には至っておりません。

新型コロナに関連しまして、大阪府が9歳以下の子どもを対象に抗

原検査キットを無償配布する取り組みを行っており、学校園単位で申し込みができることから町立幼稚園と磯長小学校、山田小学校は申し込みを行っており、届き次第配布する予定をしております。

教育総務課からは以上です。

勝良 教育長

何かご質問はございませんか。

勝良 教育長

無いようですので、続きまして学務指導関係の報告をお願いします。

教育総務課
吉村課長補佐

報告を1点とお知らせをさせていただきます。

報告ですが、令和4年11月12日土曜日に大阪府中学校生徒会サミットがございました。本町からは町立中学校の前生徒会長と現生徒会長の二名が参加いたしました。大阪府議会の会議場で、「大阪からいじめを無くすために1人1台端末時代大切にしたいことは何か」というテーマで、GIGAスクール構想で導入された端末をどの様に有効活用するかについて、大阪府内から集まった生徒会長達と議論を交わしました。町立中学校の生徒が口火を切って発言しておりました。とてもよい経験であったと参加した生徒から聞いております。

2点目はお知らせです。お手元の資料をご覧ください。今週末、太子町立幼稚園で非認知能力を育む幼児教育公開講座を行いますので、お知らせさせていただきます。

学務指導関係は以上です。

勝良 教育長

何かご質問ございませんか。

勝良 教育長

無いようですので、次に生涯学習課からの報告をお願いします。

生涯学習課
東條課長

生涯学習課から資料に基づいて簡単に説明させていただきます。

まず、主な事業の結果についてです。

FC大阪公式戦の太子町民デーが11月5日にございました。参加者は26名でございました。ちなみに、昨日の最終戦の応援には町長、教育長が行かれました。

2点目です。ふれあいTAISHIについてです。あいにくの空模様で雨が降ったり止んだりといった中での開催で、ステージ出演が7組の予定から4組になりました。

3点目は、かまどDE茶がゆについてです。昨日実施させていただきました、参加者は小学生18名でした。

また、昨日は竹内街道歴史資料館友の会の現地見学会を予定しておりましたが、雨天のため中止となっております。

次に12月の行事予定です。人権作品コンクールの表彰式を12月10

日に万葉ホールで予定しております。入賞作品につきましては、12月1日から10日まで万葉ホール前で掲示する予定です。

裏面をご覧ください。12月18日にリーダー会主催のトナ会を開催する予定をしております。詳しくは別添のチラシをご覧くださいと思います。

次に1月以降の行事予定についてです。1月9日に太子町二十歳を祝う会を予定しております。それから、竹内街道歴史資料館の冬季スポーツ展として「むかしの道具」というテーマで、来年の1月21日から2月24日まで大道旧山本家住宅で開催させていただく予定となっております。その下が、新春の体連関係の事業を3つ載せさせていただいております。二上山元旦初登りを1月1日に、新春ジョギング大会を1月22日に、アイススケート教室を3月5日に実施する予定をしております。

最後に情報提供です。生涯学習センターの7月から10月の利用者数と部屋別稼働率についての一覧をお配りしておりますので、またご覧くださいと思います。生涯学習センターにおきましてはオープンから様々なご意見、ご要望をいただいております。文化連盟の方にも意見を聞くなどし、予約時の申請書の提出時期や使用料を納めていただく期日について変更させていただく予定をしております。決まり次第ご説明させていただく予定をしておりますので、よろしく申し上げます。

以上です。

勝良教育長

何かご質問はございませんか。

勝良教育長

成人年齢が20歳から18歳に変更されるのに伴いまして、18歳を対象に成人式を開催される自治体もあるようですが、本町は二十歳を祝う会として20歳を対象に式典を行います。将来的にどうなっていくのかは分かりませんが。

生涯学習課
東條課長

南河内では18歳で成人式を開催されるのは松原市のみで、全国でも数団体しかないようです。

勝良教育長

社会の流れに沿って進めていくしかないでしょうね。
他にご意見等ございませんでしょうか。

勝良教育長

無いようですので、本日の日程はすべて終了しました。
今回は、12月12日の午前9時30分に開催させていただきます。

会議録の署名

教育長 _____ 印

委員 _____ 印